

台風等風水害、地震についての対応(R7.6.30 改訂)

※注意報、警報等は学校所在地（熱海市）又は生徒の居住地（市、町等）において発令された場合です。

警報等の種類	注意報	警報		特別警報
	強風、大雨、洪水	大雨、洪水	暴風	大雨、氾濫
危険度分布「注意」（黄） 氾濫注意情報	大雨警報（土砂災害） 洪水警報 危険度分布「警戒」（赤） 氾濫警戒情報	土砂災害警戒情報 危険度分布「非常に危険」（薄紫） 氾濫危険情報 高潮特別警報・高潮警報	何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況。命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保する。	
警戒レベル	警戒レベル2	警戒レベル3相当	警戒レベル4相当	警戒レベル5相当
取るべき行動	「避難行動の確認」	「高齢者等避難」	「避難指示」	「緊急安全確保」
授業	平常授業	平常授業	授業中止	授業中止
登校前	○家族で、安全登校ができるることを確認の上、登校 ○伊東線が不通の場合、「伊東線不通時の登校について」により対応	○家族で、安全登校ができるることを確認の上、登校 ○伊東線が不通の場合、「伊東線不通時の登校について」により対応 ○市町等から出される避難情報に注意し、安全を確保できない場合は自宅待機。	○午前6時現在発令中 ⇒自宅待機 ○午前11時までに解除 ⇒安全登校ができることを確認のうえ登校 ○午前11時を過ぎても継続 ⇒休校	○各地域（市町村）の避難指示に従い、自らの命を守ることを最優先する。 特別警報が午前11時までに解除された場合は左記警報の対応に準ずる。
始業後	○安全を考慮し、状況に応じて下校することもある。	○安全を考慮し、状況に応じて下校することもある。	○安全を確認後、下校する。 状況に応じて校舎内に待機、保護者に引き渡し。 ○下校困難な生徒については、保護者への連絡の上、適切な対処をする。	○警報中は原則として生徒は学校に留め置く。 警報が解除された場合でも、安全が確認されるまで引き続き学校に留め置くことを基本とする。

※大雨・洪水・暴風以外の気象警報は市町等から出される避難情報に注意し、安全を確保できない場合は自宅待機

【伊東線不通時の登校について】

生徒は、午前6時30分に伊東線が「不通」・「運転見合わせ」の場合、次により対応する。

*連続降雨量200mm以上で不通となる。

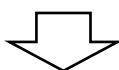
- 1 「運行」「不通」「運転見合わせ」をJR東日本ホームページやテレビ等のマスメディアで確認する。不確実な情報で判断しない。
- 2 「不通」・「運転見合わせ」の時は、徒步登校の生徒も含め、全員自宅待機とする。
- 3 午前11時までに伊東線が復旧した場合、原則登校する。その際、通学路やその周辺の安全を十分に確認する。
- 4 生徒は、「不通」・「運転見合わせ」に伴う「自宅待機」、「登校」、又は「休校」について、保護者に連絡する。

2 地震発生時の対応

(1) 大規模地震発生時の対応

	実施項目	実施者												
発生直後の安全確保	<p><登校前・登校時></p> <p><input type="checkbox"/> 休校する場合は一斉メール等で保護者に連絡</p> <p><在校時></p> <p><input type="checkbox"/> 生徒に対し東部を保護するよう、冷静で明確な指示を出す</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="3">「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所に身を寄せる</td> </tr> <tr> <td>教室</td> <td rowspan="4">頭を守る</td> <td>机の下に隠れる</td> </tr> <tr> <td>廊下・階段</td> <td>ガラスに注意して中央で伏せる</td> </tr> <tr> <td>体育館</td> <td>落下物に注意して中央で伏せる</td> </tr> <tr> <td>グラウンド</td> <td>校舎から離れ中央で伏せる</td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/> 火気の消化(特に実験や調理の授業では、電源を切りガスの元栓を閉める)</p> <p><input type="checkbox"/> 出入口を確保する</p>	「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所に身を寄せる			教室	頭を守る	机の下に隠れる	廊下・階段	ガラスに注意して中央で伏せる	体育館	落下物に注意して中央で伏せる	グラウンド	校舎から離れ中央で伏せる	災害対策本部
「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所に身を寄せる														
教室	頭を守る	机の下に隠れる												
廊下・階段		ガラスに注意して中央で伏せる												
体育館		落下物に注意して中央で伏せる												
グラウンド		校舎から離れ中央で伏せる												
避難誘導	<p><input type="checkbox"/> 生徒の状況を把握する</p> <p><input type="checkbox"/> 揺れが収まった後、教職員の指示により避難する</p> <p><input type="checkbox"/> 生徒に対し明確な指示を出す</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="3">「押さない・走らない(※)・しゃべらない・戻らない」</td> </tr> <tr> <td colspan="3">余計な荷物を持たず、上履きのまま避難する</td> </tr> <tr> <td colspan="3">安全確保のため頭部を手や体操服などで保護する</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※土砂災害時の場合は走ることもある</td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/> 名簿、引渡しカード、拡声器等を携行し、生徒を安全な場所に誘導する</p> <p><input type="checkbox"/> 普通教室以外の場所にいる生徒の所在に配慮する</p> <p><input type="checkbox"/> 生徒の不安の緩和に努める</p> <p><input type="checkbox"/> グラウンドに集合したらクラスごとに整列する</p> <p><input type="checkbox"/> 校内にいる人員の状況を把握する(点呼・欠席者・負傷者等)</p> <p><input type="checkbox"/> 二次災害等の危険が予想された場合は直ちに安全な場所に避難する</p>	「押さない・走らない(※)・しゃべらない・戻らない」			余計な荷物を持たず、上履きのまま避難する			安全確保のため頭部を手や体操服などで保護する			※土砂災害時の場合は走ることもある			全職員
「押さない・走らない(※)・しゃべらない・戻らない」														
余計な荷物を持たず、上履きのまま避難する														
安全確保のため頭部を手や体操服などで保護する														
※土砂災害時の場合は走ることもある														

※市町などから出された避難情報に留意し、通学路の安全を確認したうえで保護者への引き渡しや下校の可否を判断する。状況に応じて学校に留め置くことも検討する。



避難完了後は、災害対策本部を設置し、各班の対応行動を開始する。

(2) 登下校時、校外活動中、在宅中における生徒への指導

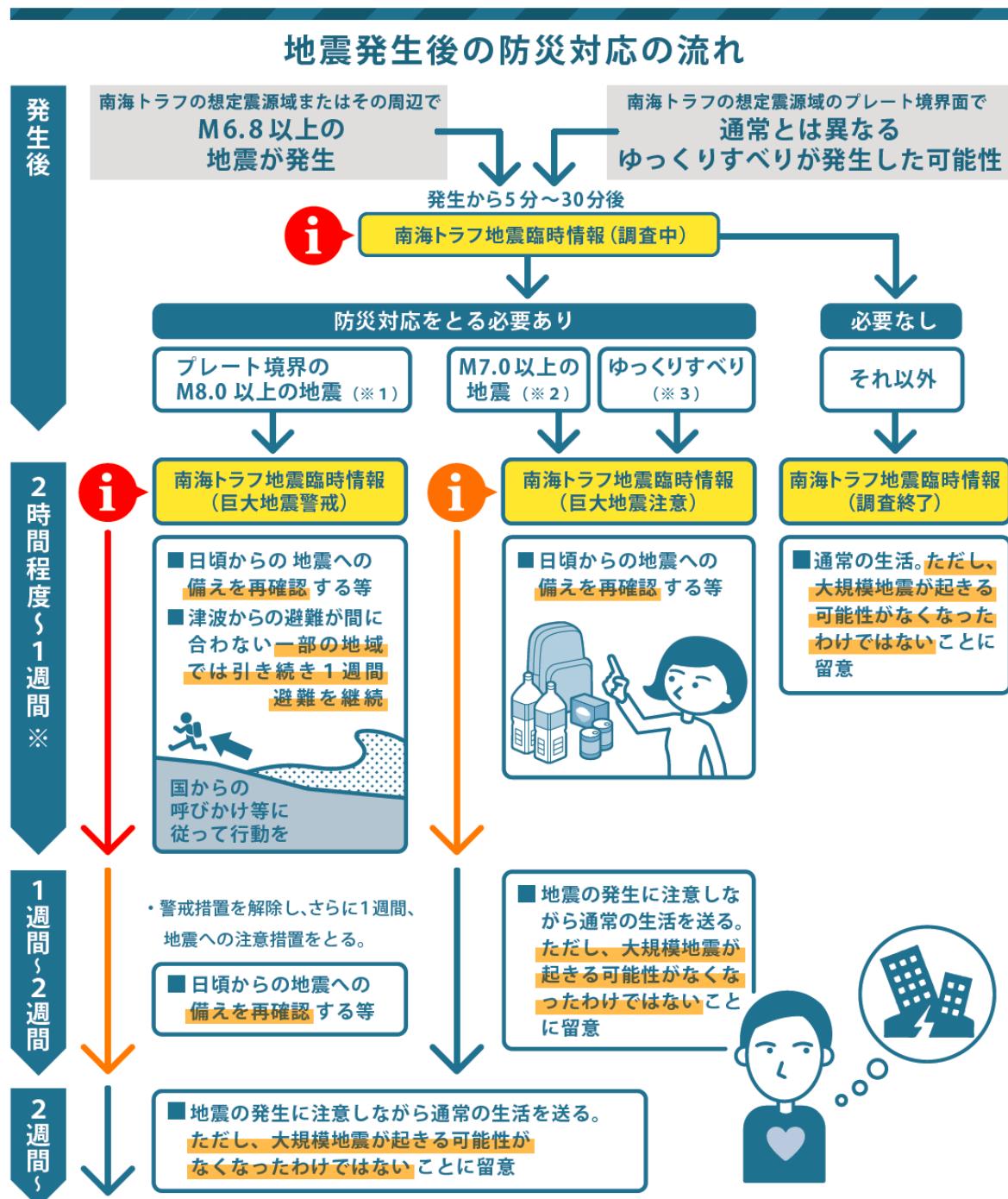
状況		教育活動実施基準	
地震	学校が所在する地域で震度4以下の地震が発生したとき	<登校前・登校時> <input type="checkbox"/> 通常授業、ただし状況に応じて休校 <在校時> <input type="checkbox"/> 通常授業、ただし状況に応じて授業中止	
	学校が所在する地域で震度5弱以上の地震が発生したとき	<登校前・登校時> <input type="checkbox"/> 休校 <input type="checkbox"/> 最寄りの避難場所へ避難 <input type="checkbox"/> 公共交通機関利用者は駅員の指示に従う ※居場所を自宅又は学校に連絡 ※休校する場合は一斉メール等で保護者に連絡 <在校時> <input type="checkbox"/> ただちに教育活動を中止	
	調査中	<input type="checkbox"/> 原則通常授業	
		<input type="checkbox"/> 原則通常授業	
	南海トラフ地震 臨時情報	巨大地震警戒	事前避難対象地域に位置する学校 (※熱海高校は事前避難対象地域外)
			<登校前・登校時> <input type="checkbox"/> 休校 <在校時> <input type="checkbox"/> ただちに教育活動中止 (1週間程度の休校)
		上記以外の学校	<ul style="list-style-type: none"> ■ 原則通常授業 ■ 教育委員会と連絡調整 ■ 保護者へ学校の対応を連絡 ■ 地震への備えの再確認
	調査終了	<input type="checkbox"/> 原則通常授業	

【「南海トラフ地震臨時情報」における防災対応】



時間差で発生する巨大地震に備えましょう ～南海トラフ地震臨時情報～

- ・南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。
- ・政府や地方公共団体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとりましょう。



※ 1 想定震源域のプレート境界で M8.0 以上の地震が発生

※ 2 想定震源域、またはその周辺で M7.0 以上の地震が発生（ただし、プレート境界の M8.0 以上の地震を除く）

※ 3 住民が揺れを感じることがない、プレート境界面のゆっくりとしたずれによる地殻変動を観測した場合など